

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	地域の連絡会議、認知症介護実践者研修等・資格取得や更新に必要な研修以外にも、より多くの外部・同業者との交流・学びの機会を設け、スタッフ個々のスキルアップを図ると同時に、事業所としての力をつけていく必要がある。	グループ内の同種サービス事業所との交流を開始する。	・グループ内事業所への見学・意見交換会等の実施について相談・検討する。 ・グループ内研修等への参加	6ヶ月
2	26 27	モニタリングは計画作成担当者だけでなく居室担当スタッフと共に行っているが、まだケアプランの周知や理解が不十分であることがある。	・スタッフがケアマネジメントのPDCAと密接に関わることで、よりケアプランを理解し、ケアを実践できる。	・ケアスタッフによるモニタリングの継続(内容の拡大) ・日々の気づき・意見等をスタッフミーティングで話し合う。 ・ケアプラン更新時にスタッフミーティングで検討する	6ヶ月
3	29	イベントボランティア以外にも、より多様な形で地域住民との交流の機会を持ち、地域密着型サービスとして地域に貢献しつつ、地域の資源を活用して利用者の暮らしに反映させたい。	ガーデンや菜園、離れを地域住民との交流・ボランティア活動の場として生かす。 (植え替え・草ぬき・メンテナンス等)	・事業所内での具体的方法の検討 ・社会福祉協議会への相談、連携 ・運営推進会議を通じた、地域住民・民生委員等との連携 ・地域社会及び利用者に還元できるかたちでの離れの活用方法の検討	12ヶ月
4	34 47	ヒヤリハット・インシデント報告については、チーフ会議で共有しているが、事例として検討しスタッフにフィードバックするシステムが必要である。	・ヒヤリハット・インシデント事例は共有するのみでなく、事例検討する場を(リスクマネジメント委員会等)設ける。	・関連事業所と合同のリスクマネジメント委員会の立ち上げについて検討する ・KYT等、スタッフがリスクマネジメントについて考える機会を作る	12ヶ月
5	49	開設後5年半が経過し重度化している中、活動・休息の支援が日により個々異なることで、特に行事としての外出の機会が減少している。	本人の思いを確認し、家族の同意を得ながら個別～少数での外出等の機会を作る。	・ボランティアの活用が可能か、社協への相談を行う(買い物・庭の散歩等) ・本人・家族の希望に応じて有償も含めた個別対応の実施	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。